

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書

【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称 木のマイホーム～九州美林・笑顔の家～

グループの名称 木のマイホーム促進会

直近採択グループ番号 06-0394-0721

(グループ代表者)

代表者名	下原 潤	代表者印
代表者所属先	株式会社GtoS	
代表者所在地	福岡県福岡市博多区住吉2-4-7-913	
代表者電話番号	092-292-5350	

(グループ事務局)

事務局事業者名	株式会社GtoS	
事務局担当者名	時政 今日子	印
事務局郵便番号	810-0042	
事務局所在地	福岡県福岡市中央区赤坂1-14-37	
事務局電話番号	090-9955-6342	
事務局FAX	092-406-7992	
事務局担当者E-mail	j.s-gtos@mopera.net	

1. 地域型住宅の名称(必須)	木のマイホーム～九州美林・笑顔の家～
2. グループの名称(必須)	木のマイホーム促進会
3. 直近採択グループ番号(必須)	06-0394-0721
4. 地域型住宅供給対象地域(必須)	九州
5. 結成年(必須)	2012 年
6. グループ代表者名(必須)	下原 潤
7. グループ代表者の所属先(必須)	株式会社GtoS
8. グループ代表者所在地(必須)	福岡県福岡市博多区住吉2-4-7-913
9. グループ代表者電話番号(必須)	092-292-5350
10. グループ事務局事業者名(必須)	株式会社GtoS
11. グループ事務局担当者名(必須)	時政 今日子
12. グループ事務局郵便番号(必須)	810-0042
13. グループ事務局所在地(必須)	福岡県福岡市中央区赤坂1-14-37
14. グループ事務局電話番号(必須)	090-9955-6342
15. グループ事務局FAX番号(必須)	092-406-7992
16. グループ事務局担当者E-mail(必須)	j.s-gtos@mopera.net

(構成員数)		(構成員を含まない理由)
I. 原木供給	10	
II. 製材・集成材製造・合板製造	15	
III. 建材流通(木材を扱わない事業者を除く)	9	
IV. プレカット	4	
V. 設計	19	
VI. 施工	20	
VII. 木材を扱わない流通	0	
VIII. I～VII以外の業種	0	

A. 使用する地域材に関する事項 (必須)	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称		国内・国外	
			番号記入欄			
<input checked="" type="checkbox"/> 合法木材証明制度を利用する <input checked="" type="checkbox"/> 合法木材証明制度を利用する <input type="checkbox"/> PEFC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> PEFC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> SGEC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> FSC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> FSC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> FIPPC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> クリーンウッド法に基づく証明 <input type="checkbox"/> クリーンウッド法に基づく証明			※以下該当の1、2、3の番号を番号記入欄に記入してください。 1.都道府県の産地認証制度等によるもの 2.民間の第三者機関による認証制度(FSC、PEFC、SGEC等) 3.林野庁作成の「木材・木村製品の合法性、持続可能性のためのガイドライン(平成16年2月)」に基づき合法性が証明されるもの 4.クリーンウッドに基づき合法であることが確認された木材・木村製品(合法伐採木材等証明)			
		国産材	3	国内		
		外材	3	国外		
		国産材	2	国内		
		外材	2	国外		
		国産材	2	国内		
		国産材	2	国内		
		外材	2	国外		
		国産材	2	国内		
		国産材	4	国内		
		外材	4	国外		
	九州美林	九州	合法木材証明制度	3	国内	

B. 平成30年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世帯同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		30	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	30	戸		
					上記の内、三世帯同居加算を要望(上限30万円)	2	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		14	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	14	戸		
					上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	1	戸		
	長寿命型	長期優良住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		18	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	18	戸		
					上記の内、三世帯同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		10	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	10	戸		
					上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		5	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	5	戸		
					上記の内、三世帯同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		2	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	2	戸		
					上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
		高度省エネ型	認定低炭素住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		3	戸	
					加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	3	戸	
						上記の内、三世帯同居加算を要望(上限30万円)	0	戸	
					その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		1	戸	
					加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸	
						上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸	
高度省エネ型	性能向上計画認定住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世帯同居加算を要望(上限30万円)	0	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
	高度省エネ型	性能向上計画認定住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		2	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	2	戸		
					上記の内、三世帯同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		1	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸		
					上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
高度省エネ型	ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限125万円)		18	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	18	戸			
				上記の内、三世帯同居加算を要望(上限30万円)	0	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限125万円)		8	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	8	戸			
				上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
高度省エネ型	ゼロ・エネルギー住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限140万円)		8	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	8	戸			
				上記の内、三世帯同居加算を要望(上限30万円)	0	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限140万円)		4	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	4	戸			
				上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数		今年度要望する棟数及び面積		0	棟			
				0	m ²				
		その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積		0	棟	0		m ²	
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須)	毎月実施している施工可能物件アンケートを参考に施工可能な物件を優先的に補助対象とする。配分された補助額に応じて、偏りのない配分を事務局が責任を持ち、実行する。								
E. 平成29年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)								
	採択戸数	36	戸	交付申請戸数	26	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	26	戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)								
	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)								
	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)									
採択戸数	17	戸	交付申請戸数	10	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	10	戸	
優良建築物型									
採択棟数	0	棟	交付申請戸数	0	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	0	戸	
採択床面積	0	m ²	交付申請床面積	0	m ²	完了実績(竣工予定含む)床面積	0	m ²	

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 木のマイホーム～九州美林・笑顔の家～	(地域型住宅供給対象地域) 九州
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) 木のマイホーム促進会	(結成年) 2012 年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	06-0394-0721	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取り組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	・将来的に価値のある住宅(長期優良住宅や認定低炭素住宅) ・一次エネルギーの消費を抑えた住宅(ゼロエネルギー住宅) 上記のいずれかを供給する。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	・主要構造材の50%を越える地域材とする。 ・自然素材や省エネ効果のある素材の活用。 上記を満たす木造在来工法での住宅の供給。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	特になし	
④①～③の背景	その地域の良さはそこに住む人が作り出すものと考え、そこに住む人が心安らぐ、楽しく、元気に暮らす住宅の提供と住環境の提供を会として促進するため、①②を必須条件として住宅の建築を行う。また、③に関しては住宅自体は購入されるご家族のもの限定するのではなく、それぞれの考えを尊重するため設けない。	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	九州地域で取れる材料や開発・生産されている資材の活用と促進。	○
イ. 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	■ 行っていない □ 行っている → 内容:	
①-2 使用建材の統一	■ 行っていない □ 行っている → 内容:	
①-3 標準仕様の設定	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: 木のマイホーム促進会の推奨仕様を作成。基本は構成員独自の仕様で推奨仕様はそれを作るときの参考として活用してもらう。	◎
②-1 建材・資材調達共同化	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: BMMIにて建築材料を紹介し、必要なものを購入して活用してもらう。	○
②-2 調達事務の合理化	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: BMMIにて合理化を行う	○
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: 木のマイホーム促進会内に工務店グループ・設計グループ・木材グループと3つのグループがあり、それぞれのグループにて勉強会や検討会議などを年に2回開催する。	○
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	□ ない ■ ある → 内容: 各グループの意見の取りまとめを行い、木のマイホーム促進会としての方針を決定する。	○
b		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	■ ない □ ある → 内容:	
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	■ ない □ ある → 内容:	
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	□ ない ■ ある → 内容: 木のマイホーム促進会の価格基準の作成。各構成員は基準に見合う積算を行う。	◎
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	□ ない ■ ある → 内容: インターネットを活用して、現場や活動の状況を公開して、すまい手の信頼向上につなげる。フリーペーパー『木のマイホーム』にて、木のマイホーム促進会の活動やお客様の声などを伝える。	◎
c		
① 週休2日制の導入の取組	■ ない □ ある → 内容:	
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	□ ない ■ ある → 内容: 社内評価制度を積極的に導入を促す。(助成金活用など)	○
③ 社会保険への加入	■ ない □ ある → 内容:	
④ 安全及び健康の確保のための取組	□ ない ■ ある → 内容: 現場管理の安全面の情報共有と健康診断等の内容の精査を促す(助成金活用など)	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 木のマイホーム～九州美林・笑顔の家～	(地域型住宅供給対象地域) 九州		
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 木のマイホーム促進会	(結成年) 2012 年		
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0394-0721			
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取り組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。				
ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備				
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄		
a	① 住宅蓄履歴情報の			
	①-1 内容・蓄積の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: GtoSRM(顧客管理システム)への顧客情報蓄積の義務化。	◎	
	①-2 情報サービス機関の活用	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:		
	①-3 履歴情報蓄積の確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局に問合せ。	◎	
	② メンテナンス基準	②-1 点検の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 定期メンテナンスの時期や項目などを決定し、最低限それらを行う。	◎
		②-2 補修の共通ルール	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
		②-3 点検補修実施の確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 定期メンテナンス時期を事務局から連絡。メンテナンス状況報告の義務化。 ※事務局側で顧客履歴情報を管理。	◎
	③ 住まいの管理	③-1 住まい管理勉強会の実施	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
		③-2 DIY体験会等の実施	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
		③-3 その他の相談会等の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 構成員各社でOBとの交流会などイベントを年に1回は開催して、OBとの信頼関係の構築を行い、相談しやすい環境を作る。	○
④ 維持管理委員会等の設置	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:			
⑤ その他の維持管理の手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 構成員各社でOBに対して定期的なDM等で情報発信を行い、相談しやすい環境を作る。	○		
b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール	<input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:		
	② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施	<input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:		
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。				
エ. グループの技術力の向上				
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄		
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・長期優良住宅・低炭素住宅・ゼロエネルギー住宅に関する講習会の開催。 ・個別での説明会の開催。	◎	
	②-1 品質管理のための共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 設計サポートと施工管理サポートを行う。	○	
	②-2 上記共通ルールが守られていることの確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 実績報告等で確認。	◎	
	③-1 需給計画の策定	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 構成員各社で計画を立て、その取りまとめを行う。	◎	
	③-2 技術力向上のための中長期的な計画	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 各種講習会を行い技術向上と情報発信を行う。	◎	
	④ ③に基づく業種ごとの合理化の取組	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:		
b	①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数	昨年度までの終了者数 15 今年度の参加目標人数 5	◎	
	①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数	昨年度までの終了者数 今年度の参加目標人数		
	② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 開催時期の通知と参加の確認を行う	○	
c	① 新たな技術等の導入	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:		
	② 新たな技術等の開発	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:		
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。				

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 木のマイホーム～九州美林・笑顔の家～	(地域型住宅供給対象地域) 九州												
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 木のマイホーム促進会	(結成年) 2012 年												
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0394-0721													
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。														
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与														
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄												
a	① 地域材利用に関する共通ルール(必須)	主要構造材(柱・梁・桁・土台) 主要構造材の50%以上を地域材とする 九州地域で生産された木材とし、合法木材の証明が取れる地域材を活用する。												
	② 地域材利用の1棟当たりの割合(必須)	<input type="checkbox"/> 50%未満 <input checked="" type="checkbox"/> 50%以上 <input type="checkbox"/> 80%以上												
	③ 標準的な地域材の使用部位(必須)	<table border="1"> <tr> <td>主要構造材</td> <td>土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td></td> <td>柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td></td> <td>梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>羽柄材</td> <td>間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>造作材</td> <td>枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>板材</td> <td>壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> </table>	主要構造材	土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している		柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している		梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している	羽柄材	間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している	造作材	枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している	板材	壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している
主要構造材	土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している													
	柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している													
	梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している													
羽柄材	間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している													
造作材	枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している													
板材	壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している													
	④ 地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明	<p>建材流通を中心とした木材グループを形成 原木からプレカットまでの流れを管理</p> <p>地域材の流れに関わる社数を緊急に対応できる会社だけに限定している。</p> <p>〈木のマイホーム促進会の地域材供給の流れ〉</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%;"> <p>地域材とは？</p> <p>産地が明確な木材 木のマイホーム促進会では木材を原木から建築地まで運ばれるまでの流れに関わる業者すべてが合法木材を扱う業者と認められており、それぞれ証明書を発行することで産地を明確にわかるようにしている。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%;"> <p>木材グループ</p> <pre> graph TD A[原木提供者] -- 証明書の作成と提出 --> B[製材業者] B -- 証明書の作成と提出 --> C[建材流通業者・プレカット工場] C -- 証明書の作成と提出 --> D[工務店] </pre> </div> </div>												
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 木材グループで在庫等の情報共有を行う。												
	①-2 地域材価格の共有の仕組	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:												
	② グループ全体における地域材の需給予測	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 木材グループの連携して、需給状況の情報等を事務局に集約。それらを事務局から全体に発信していく。対策が必要な場合は臨時会議を開催して、会全体で対応していく。												
c	①-1 畳の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:												
	①-2 和瓦の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:												
	①-3 襖の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:												
	①-4 障子の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:												
	②-1 その他地域の伝統的な素材の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 九州内で生産等されている建材の促進												
	②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:												
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:												
	② 地域の住まい方の継承につながる取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 事務局が情報収集を行い、講習会や勉強会などを開催して、情報の共有と知識の蓄積を行う。												
	③ 地域の街並み形成へ寄与する取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 事務局が情報収集を行い、講習会や勉強会などを開催して、情報の共有と知識の蓄積を行う。												
	④ 和の住まいの要素を取り入れた取組	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:												
	その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	九州で取れるまたは生産される建築資材の会社を積極的にグループに参加してもらい、グループ内で活用できる流通やコスト面の整理を行う。												
カ. その他														
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄												
	東日本大震災の復興に資する取組													
	平成28年熊本地震の復興に資する取組	・木のマイホーム基金の立ち上げ。基金を集め、資金面で支援を行う。 ・その他、支援検討中。												

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 木のマイホーム～九州美林・笑顔の家～	(地域型住宅供給対象地域) 九州
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 木のマイホーム促進会	(結成年) 2012 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0394-0721	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み		
<p>キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴 ※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。 ※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。</p>		
<p>・木のマイホーム促進会の活動スローガン 『住環境をより良くして、そこに暮らす人の笑顔を作る』</p> <p>・木のマイホーム促進会活動の3つの柱 ①木のマイホーム～九州美林・笑顔の家～の提供 木のマイホーム促進会～九州美林・笑顔の家～ 長期優良住宅・認定低炭素住宅・ゼロエネルギー住宅の提供と技術力・知識力の向上 ②地域資源の活性化 地域材の活用と九州にある・九州で作られた材料の活用 ③自然との共存 自然を生かした住環境づくりを推進する</p> <p>・高度省エネ住宅に取り組む理由と特徴 本年度は構成員全社にゼロエネルギー住宅への取り組みを促進するため、講習会を開催予定。 年内には全社1棟はゼロエネルギー住宅の契約、着工できるように意識改革と支援をする。</p> <p>活動スローガンにもあるように私たちが提供したいのはそこに暮らす人の笑顔です。 そのために住宅建築の技術力・知識力を向上させ、住宅購入を考える方に多くの選択肢を与えられるようにする。 住宅購入者にあつた暮らしを提供することでそこに暮らす人の満足度を上げ、笑顔でいてもらうことができ、私たちの技術力・知識力の向上に繋がると考えます。</p> <p>そして、そこに九州にある・九州で作られた材料を活用することで木のマイホーム～九州美林・笑顔の家～と言えると考えます。 そして、将来を考えた住環境づくりを進めることで、そこに暮らす人の笑顔が長く続くことを望んでいます。</p> <p>長期優良住宅や認定低炭素住宅、ゼロエネルギー住宅の特徴はそれぞれの特徴を正確にとらえ、技術力でそれを正確に作ること。 そして、多くの知識力を身に付け、それを継続させるために必要なことを行う。</p> <p>これが木のマイホーム促進会が高度省エネ型住宅に取り組む理由と特徴です。</p>		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。